

【第3編 資産運用 5-34】信用取引における委託保証金のルール

～もし追証が発生してしまったらどうなるのか？～

▶委託保証金を超える損失が出てしまったら？

①委託保証金に対しては約3倍までの金額を取引できる

(例) 委託保証金(担保) 100万円→300万円まで取引できる(信用取引)

→委託保証金＝最低30万円以上

委託保証金100万で100株(300万円)を購入した場合

ある時 株価3万円→株価5,000円に→100株の値段が50万円に→追証が発生する

・まずは委託保証金に関するルールを確認する

最低委託保証金：最低限入れておかねばならない金額(制度信用、一般信用合算)

委託保証金率：信用取引で何%委託保証金を預けておけばいいのかの数字(SBIでは31%)

最低委託保証金率(維持率)：確認時点において、委託保証金が何%あるか？

■信用取引における委託保証金ルールの比較(2020年8月18日時点)

	最低委託保証金	委託保証金率	委託保証金維持率
SBI証券	30万円	31%	20%
楽天証券	30万円	30%	20%
マネックス証券	30万円	30%	25%
GMOクリック証券	30万円	30%	20%
ライブスター証券	30万円	30%	20%
松井証券	30万円	30%	20%
岡三オンライン証券	30万円	30%	20%
野村證券(Web)	30万円	33%	30%
SMBC日興証券	30万円	30%	25%

各証券会社異なるのでホームページより確認

